

文芸小くらがわ



俳句

【桜川市岩瀬俳句会】

白湯吹いて眼鏡曇らす風邪心地

三代 みちよ

荒星の汽笛は街にとどろけり

渡部 千恵子

吹く風を総身に受けて梅開く

入山 ひろ子

西風強し二荒は見え雲の中

小林 啓治

【茂山俳句会】

飢え知らず戦後も知らず成人す

鈴木 ノブ子

好きな道好きに歩いて路の藁

吉原 秀子

人の世を見下ろしてゐる寒鴉

鈴木 ノブ

どう見ても皺のかくせぬ初鏡

竹林 てる

凍て滝のうしろの山の無口なり

海老澤 静夫

一声のこだま返して寒鴉

宮本 芳江

糸魚川御風を偲ぶ「春よ来い」

塚本 幸子

踏んばりのまだ利くうちの寒仕込み

植竹 ふみ

元日やこの地に生を全うす

吉原 京子

まくらがのこのがの飴煮や初霰

飯山 昭

筑波嶺を借景となす冬座敷

松崎 いま

歩くこと長寿の秘訣春衣

金子 弘毅

小豆粥色もどろみも豊兆す

君島 真理子

残飯を踏まへ食らふや寒鴉

笠倉 陽子

酉祠まこぼれおり初参り

皆川 一女

立春や本読む子らの声澄みて

渡部 千恵子

初鴉天地を眺め一と鳴きす

海老沢 幸子

葱掘つて長き白根の光りけり

大関 くに

寒鴉路地に簡易精米所

宮本 立夫

銀翼や平和な空に梅香る

今井 繁子

短歌

【岩瀬短歌会題詠「光」】

子らのこえ聞こえずなりし過疎の村棚田に光
るホタルを見付く

飯田 良江

光受け風にふるえるきさらぎのピオラ数株こ
こに春待つ

久保 悦子

初春の光あふるる縁側に三人家族の布団ひろ
ぐる

泉 三郎

朝の日がいまわが家にも届きたり今日も一日
元気でいろと

山田 しげの

銘々にきらりと光るものをもつ原石ならん六
人の孫

浜野和 操

満月を手でさえぎりて双子座の流星群の光を
とらう

石田 守子

「又あした」作業終へたる夫の鎌西に傾く光
を反す

古賀 澄

この星の原始思わす夕ひかり淡黄色に空に展
がる

浅賀 順子

おだし陽を背に受けながら里芋の皮を剥くと
きふと妣思ふ

広沢 日出子

広き洋よりゆるりと上がりし朝の日の光やは
らに降りくる冬至

小林 美瑛子

夕焼けに海面のいろはうつろひて波の秀きら
きら光をはなつ

瀧井 幸子

寄り合いを終へて夜更けに帰る道すがら月光
寒く襟をかき寄す

鈴木 英雄

LEDの車の光眩しくて薄暮の運転ためらい
ており

渡辺 しな子

満月の光がとどく窓に寄り愚かな戦なきを祈
りぬ

大久保 富美江

憧れの賞を受けにし昂りの心もありて老は遠
のく

萩原 きしの

介護のご相談は

居宅介護支援事業所

さくらがわ

☎0296-20-6071

入所・短期入所・
通所リハビリテーション

介護老人保健施設

さくらがわ

☎0296-20-6071

URL: <http://www.douaikai.or.jp>

内科・外科・消化器内科・
循環器科・呼吸器科・耳鼻咽喉科

延島クリニック

☎0296-58-5058